

「2024 日台観光サミット in 高雄」 高雄宣言

日台観光推進協議会(台日観光推進協議会)は2024年5月31日、台湾・高雄市において「2024 日台観光サミット in 高雄」を開催し、「SDGsにおける日台観光の新たな魅力について」について議論を行った。

「持続可能」をグローバル観光業界における重要な指標とし、本日日台双方は観光分野において持続可能な発展を継続的に推進することを決議した。国際観光旅客数の成長趨勢に合わせ、日台双方の健全かつバランスの取れた訪問・交流の推進を軸とし、コロナ前の相互訪問者数700万人を超えるよう促進する。

具体的な施策として、日台双方は観光地や移動サービスのデジタル化の推進、および人流データの把握・分析による観光品質の向上に取り組むとともに、AI等の先端技術の活用を通じてデジタルサービスの効率を高め、旅行商品の購入利便性および業務プロセスの合理化を創出する。

同時に、持続可能の概念を交通機関の利用機会や旅行商品に取り入れ、地域文化の多様性と環境保全の価値を強調することで、日台双方の旅行者に相互訪問および再訪のモチベーションを高めていくこととする。

次回の「日台観光サミット」は、日本・鳥取県で開催することに合意し、日台双方の観光産業界の深い友情と豊富な提携経験をもとに、観光交流の更なる高みを目指し、共存共栄の創出に取り組んでいくものとする。

2024年5月31日

日台観光推進協議会
公益社団法人日本観光振興協会
会長 山西 健一郎

台日観光推進協議会
財団法人台湾観光協会
会長 葉 菊蘭